



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2475 URL <https://www.wdbhd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹 TEL 079-287-0111  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	35,734	1.2	4,271	△13.2	4,325	△13.0	2,564	△18.5
2022年3月期第3四半期	35,295	7.3	4,923	25.2	4,974	25.6	3,147	20.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,839百万円 (△14.7%) 2022年3月期第3四半期 3,330百万円 (24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	130.08	-
2022年3月期第3四半期	159.45	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	34,818	27,349	76.2
2022年3月期	33,828	25,796	74.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 26,522百万円 2022年3月期 25,113百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	19.50	-	30.00	49.50
2023年3月期	-	20.50	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	31.00	51.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,249	0.8	5,083	△19.5	5,083	△20.5	3,277	△21.4	166.02

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	20,060,000株	2022年3月期	20,060,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	420,949株	2022年3月期	320,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	19,716,915株	2022年3月期3Q	19,739,148株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、引き続きコロナウイルス感染症による影響を受けているものの、ワクチンおよび感染防止策の浸透により、当社グループの事業への影響は軽微に留まりました。

厚生労働省が発表した有効求人倍率(季節調整値)は、2022年4月～12月の平均値が1.30倍となり、2021年4月～12月の平均値と比べ、0.16ポイント上昇いたしました。また、総務省が発表した完全失業率(季節調整値)は、2022年4月～12月の平均値が2.6%となり、2021年4月～12月の平均値と比べ、0.2ポイント低下いたしました。前年の同期間と比較して、求人数が増加、失業率が低下しており、人材獲得の難易度は高まっております。なお、当社グループの主要顧客である、医薬品・化学・食品メーカーなどの研究所・品質管理部門、大学・公的機関の研究所からの新規の派遣依頼および受注数については、昨年度と同等の水準で推移いたしました。

人材サービス事業においては、2022年5月13日に発表した中長期経営計画に基づき、社員の待遇改善を実施いたしました。就業中の派遣社員に対しては、2022年7月より報酬改定を行い、新規募集する派遣社員についても、改定した報酬に基づいて求人活動を行っております。この取り組みを行った結果、新規登録者を増加させることと、既存派遣社員の退職率低下について、一定の効果が見られています。また、派遣社員以外の当社グループ従業員についても、報酬のベースアップを実施し、優秀な人材の確保に努めております。

派遣サービスプラットフォーム「ドコニコ」については、改良および顧客・見込み客・派遣社員への浸透活動を進めるとともに、ドコニコによる業務効率化の効果を最大限に発揮できるよう、組織の最適化に取り組んでおります。

(中長期経営計画 <https://www.wdbhd.co.jp/assets/pdf/ir/about/management-policy220513.pdf>)

CRO事業については、既存の事業に取り組みながら、人材サービス事業と同様に、プラットフォームを通じたサービスを行えるよう、開発を進めております。

以上の活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、35,734百万円(前年同期比1.2%増加)となりました。営業利益は、4,271百万円(前年同期比13.2%減少)、経常利益は、4,325百万円(前年同期比13.0%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,564百万円(前年同期比18.5%減少)となりました。また、当社が重視している指標である売上高営業利益率は、12.0%(前年同期は14.0%)、売上高経常利益率は、12.1%(前年同期は14.1%)となりました。減益となった要因は、派遣社員の待遇改善に伴う原価の増加、従業員の待遇改善に伴う販管費の増加であります。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

(注) セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

#### ① 人材サービス事業

当セグメントの売上高は、30,729百万円(前年同期比1.2%増加)となりました。また、セグメント利益は、3,763百万円(前年同期比13.0%減少)となりました。減益となった要因は、派遣社員の待遇改善に伴う原価の増加、従業員の待遇改善に伴う販管費の増加であります。

#### ② CRO事業

当セグメントの売上高は、5,004百万円(前年同期比7.3%増加)となりました。また、セグメント利益は、888百万円(前年同期比1.8%増加)となりました。増収率と比較して、増益率が低くなっている要因は、WDBココにおいて、今後に向けての投資を行いコストが増加したこと、アメリカでの業績が振るわなかったことであります。なお、フィンランドの子会社については、ウクライナ情勢の影響が懸念されるものの、現状では事業への影響はありません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態について、総資産は34,818百万円(前連結会計年度末比990百万円増加)となりました。負債は、7,469百万円(前連結会計年度末比563百万円減少)となりました。また、純資産は、27,349百万円(前連結会計年度末比1,553百万円増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想及び配当予想について、2022年5月13日に発表したものからの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,426,445	17,288,818
売掛金及び契約資産	6,045,337	6,166,179
棚卸資産	38,094	36,663
その他	585,117	683,051
貸倒引当金	—	△43,597
流動資産合計	23,094,995	24,131,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,489,203	1,437,162
土地	6,798,672	6,787,415
その他(純額)	310,682	446,587
有形固定資産合計	8,598,558	8,671,166
無形固定資産		
のれん	95,610	—
その他	63,015	77,336
無形固定資産合計	158,626	77,336
投資その他の資産		
投資有価証券	91,343	97,952
敷金及び保証金	779,735	818,192
繰延税金資産	819,007	728,570
その他	286,204	294,474
投資その他の資産合計	1,976,291	1,939,189
固定資産合計	10,733,476	10,687,692
資産合計	33,828,472	34,818,807
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,239,785	2,220,114
未払金	357,265	779,794
未払法人税等	1,238,007	406,399
未払消費税等	857,341	849,613
賞与引当金	700,325	497,171
その他	1,167,653	1,196,340
流動負債合計	6,560,379	5,949,434
固定負債		
役員退職慰労引当金	486,950	505,070
退職給付に係る負債	493,321	520,098
資産除去債務	268,673	272,642
その他	222,720	221,754
固定負債合計	1,471,665	1,519,565
負債合計	8,032,044	7,469,000

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	669,833	669,833
利益剰余金	24,505,499	26,073,458
自己株式	△1,018,690	△1,277,189
株主資本合計	25,156,642	26,466,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,693	20,280
為替換算調整勘定	24,654	100,272
退職給付に係る調整累計額	△83,870	△64,477
その他の包括利益累計額合計	△43,522	56,075
非支配株主持分	683,307	827,630
純資産合計	25,796,427	27,349,807
負債純資産合計	33,828,472	34,818,807

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	35,295,729	35,734,706
売上原価	25,743,811	26,613,584
売上総利益	9,551,918	9,121,122
販売費及び一般管理費	4,628,039	4,849,154
営業利益	4,923,879	4,271,967
営業外収益		
保険解約返戻金	4,860	—
助成金収入	7,771	43,203
消費税等免税益	30,502	1,334
その他	13,161	10,689
営業外収益合計	56,294	55,227
営業外費用		
その他	5,639	1,759
営業外費用合計	5,639	1,759
経常利益	4,974,534	4,325,436
特別利益		
固定資産売却益	51	572
特別利益合計	51	572
特別損失		
固定資産除却損	11,367	1,215
固定資産売却損	—	5,720
減損損失	—	59,785
特別損失合計	11,367	66,721
税金等調整前四半期純利益	4,963,219	4,259,287
法人税、住民税及び事業税	1,555,072	1,438,437
法人税等調整額	102,467	82,211
法人税等合計	1,657,539	1,520,649
四半期純利益	3,305,679	2,738,637
非支配株主に帰属する四半期純利益	158,286	173,853
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,147,392	2,564,783



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,305,679	2,738,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,071	4,587
為替換算調整勘定	23,364	75,617
退職給付に係る調整額	3,164	20,309
その他の包括利益合計	24,457	100,514
四半期包括利益	3,330,137	2,839,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,171,838	2,664,382
非支配株主に係る四半期包括利益	158,298	174,769

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年11月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が258百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,277百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス 事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,356,447	4,664,129	35,020,576	275,152	35,295,729
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60,137	—	60,137	—	60,137
計	30,416,585	4,664,129	35,080,714	275,152	35,355,867
セグメント利益	4,326,181	872,784	5,198,965	35,622	5,234,587

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガスインジェクション装置等やバイオ関連機器の開発製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	5,198,965
「その他」の区分の利益	35,622
全社費用(注)	△310,708
四半期連結損益計算書の営業利益	4,923,879

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

4. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

		顧客との契約から 生じる収益	計
報告セグメント	人材サービス事業	人材派遣	29,851,263
		人材紹介	505,183
	CRO事業	国内会社	2,981,235
		海外会社	1,682,893
報告セグメント計			35,020,576
その他(注)			275,152
合計			35,295,729

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガスインジェクション装置等やバイオ関連機器の開発製造事業を含んでおります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	人材サービス事業	CRO事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	30,729,892	5,004,814	35,734,706	35,734,706
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,753	—	33,753	33,753
計	30,763,646	5,004,814	35,768,460	35,768,460
セグメント利益	3,763,106	888,086	4,651,193	4,651,193

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,651,193
全社費用(注)	△379,225
四半期連結損益計算書の営業利益	4,271,967

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 4. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

		顧客との契約から生じる収益	計
報告セグメント	人材サービス事業	人材派遣	30,227,157
		人材紹介	502,735
	CRO事業	国内会社	3,381,401
		海外会社	1,623,413
報告セグメント計			35,734,706
合計			35,734,706